

渡辺ゆきやす

日本共産党 稲沢市議会議員



若者を戦場に送るな
「戦争する国」づくり NO!

日本共産党

稲沢民報

2015年 号外 発行：日本共産党稲沢市委員会
日本共産党の政策と見解を紹介します。

戦争立法・秘密保護法・原発推進・消費税増税…

安倍政権の暴走ノ一

世界のどこであれ、自衛隊が「戦闘地域」まで行って米軍を支援…。安倍政権は、自衛隊員を「殺し・殺される」危険にさらそうとしています。憲法9条をこわす「戦争立法」は許せません。

また、医療・介護・年金など、社会保障のあらゆる分野で個人負担を増やし、消費税の増税も予定しながら、大企業・大金持ちには減税を続ける安倍政権。

自治体の役割は「住民福祉の増進」です。ところが、稲沢市は大型開発を優先し、保育料や国保税の値上げなど国の言いなりの市政を続け、日本共産党議員以外何でも賛成の議会になっています。「安心して暮らしたい」という市民の願いに応えるために、日本共産党の議席が必要です。

躍進した国会議員団とともに 5つの転換に全力

- 1 消費税10%は「先送り」ではなく、きっぱり中止！「消費税に頼らない別の道」に転換
- 2 格差拡大の「アベノミクス」の暴走ストップ暮らし第一への転換で経済を立て直す
- 3 「海外で戦争する国」づくりを許さない憲法9条の精神に立った外交戦略で平和と安定を築く
- 4 原発再稼働ストップ「原発ゼロ」の日本をつくろう
- 5 米軍の新基地建設を中止し、基地のない平和で豊かな沖縄をつくります

市役所がブラック企業に…

稲沢市は、平成 16 年に企業の経営手法を取り入れ、行政運営を「行政経営」と改め、すべての部署で臨時職員を増やし、民間委託に切り替えるなど、公の職場で不安定・低賃金の労働者を増やし続けています。

救急・消防活動が満足にできません！

消防の充足率は 81%。祖父江・平和分署では、職員の削減で救急車が出動中に火災が起きた場合、消防自動車が出動する基本乗務員である 5 人が確保できません。

安心して子どもを預け働きたいのに…

児童館では今年から一人の管理者が、数キロ離れた複数の施設管理者とされています。保育園の職員も半数近くが臨時職員に。

公共施設の相次ぐ廃止・委託

子どもたちの夏休みの楽しみである、「市民プール(平和町プール除く)」を平成 29 年度廃止。青少年センター・体育センター・働く婦人の家を平成 30 年度廃止。学校給食は順次センター方式に切り替え、民間委託。平成 30 年には市民課税窓口業務までも民間委託しようとしている。

様々な形で市民サービスを切り捨て、必要な経費をどんどん削る市長方針に、日本共産党議員以外何でも賛成です。

こんな街づくりは許せません

命とくらし、雇用を守る市政に

自治体本来の役割は 住民福祉の増進

消費税の再増税・医療費負担増・介護保険料引き上げ国政が国民に負担を押し付けている今、自治体に住民を守る役割が求められています。

憲法はすべての国民に健康で文化的な最低限度の生活を保障しています。誰もが安心して暮らせる社会、とりわけ行政の手を必要とする高齢者・こども・障がい者も安心して暮らせるまちにするために、これからも全力で頑張ります。

渡辺ゆきやすプロフィール

昭和 62 年、市議会議員に立候補し初当選(当時 36 歳)。私は「子どもやお年寄りが大切にされる市政は、誰もが安心して暮らせる街」を信念に頑張ってきました。最近では、巡回バス(コミュニティーバス)実現のため多くの方々と署名活動に奔走。新市民病院の建設では、議会のたびに要求し続けてきました。

●くらし、子育て、障がい者も安心して くらせるまちづくり

- ・高校卒業まで医療費を無料化します。
- ・保育料の引き下げ、延長保育料を廃止します。
- ・一人暮らし、高齢者世帯の配食サービス等を充実します。
- ・特別養護老人ホームの増設など、介護施設を充実します。
- ・国民健康保険税・介護保険料を引き下げます。

●学校を存続し、豊かな教育を

- ・学校はまちづくりの核であり、すべての学校を存続します。
- ・老朽後者を計画的に新築・改修し、教室にエアコンを設置します。
- ・少人数学級を推進します。
- ・学校給食の自校調理方式を堅持します。

●災害に強く、地域に根ざした産業を

- ・中小零細業者の仕事づくり、雇用創出する住宅リフォームや再生可能エネルギーに補助します。
- ・防災の拠点として、祖父江・平和支所を存続します。